

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 吉田 節美
 幹事 石黒 正則
 会報・雑誌委員長 大口 弘和

No. 32

ロータリーの夢を追い続けよう

FOLLOW YOUR ROTARY DREAM

1998～99年度 RI会長 ジェームスL・レイシー

きょうの例会

第798回 平成11年3月23日(火)

講演 “ドイツのゴミ事情”

名古屋市立大学名誉教授

青山 光子さん

(紹介 田部井君)

先週の記録

第797回 平成11年3月16日(火)

晴

◆黙 禱 会員 渡辺 辰夫君を偲んで

◆“それでこそロータリー”

◆出席報告

会 員 70(67)名 出 席 41名

出席率 61.94%

前々回 3月2日 (修正出席率) 100%

◆ビジター紹介 1名

◆ゲスト紹介

'99～2000年度青少年交換学生 浅見 祐佳さん

◆ニコボックス (3/9・3/16) は紙面の都合上、次回掲載とさせていただきます。

大口君会葬御礼挨拶

先般の父の葬儀に際しまして、ご多忙中にもかかわらず、皆さまにご会葬賜り、有難うございました。心より御礼申し上げます。

石黒幹事報告

1. 会員の渡辺 辰夫君が14日腎不全の為、お亡くなりになられ昨夜通夜、今日午後1時より葬儀、2時出棺となっておりますので、例会を早めに終了させていただきます。

松居直前会長挨拶

こんにちは

吉田会長、小林副会長が渡辺君のご葬儀に出席のた

め、又和田エレクトもご欠席ということで、議事進行上替わって務めさせていただきます。

本日はビジター1名と、青少年交換学生の浅見さんをお迎えておりますが、会員のご葬儀という事で時間もなく、私もこの例会後、渡辺さんのご葬儀に伺いたいと思っております。

渡辺さんは昭和61年5月に入会され、ロータリーをととても愛され、同好会でも千年会という陶芸で私達と一緒に陶器を作っておられました。子供っぽいところもあり、途中まで作ったあとは陶芸の道年先生の息子さんに手伝ってもらいながら完成させたりと、非常に楽しんでおられたお仲間でした。

昨年度の会長挨拶で話した事もありますが、お釈迦様がおっしゃるには、人間というものは49日を過ぎると魂が輪廻して、またこの世に帰れるということで、あと40数日間、極楽をご旅行して頂きこの世にお帰りになると考えれば、この悲しみも半減するのではないのでしょうか。

計 報

(株)東海ネットワーク 顧問 渡辺 辰夫君



病氣療養中のため、休業中のところ、3月14日(田)腎不全の為ご逝去されました。
享年71歳

昭和61年5月にご入会后、親睦活動・ロータリー財団・会計・会場設営・インターアクト・出席の各委員長を務められました。

親睦委員長の折には、新しく入会された方が少しでも早くクラブに馴染めるよう率先してレクチャーをなさったり、楽しく過ごせるように常に心遣いをされていました。

又、同好会では季楽会と千年会に入られて、奥様と楽しくご参加され、いつもニコニコと笑顔を絶やさない温厚なお人柄に、励まされ、教えられた方も多いのではないのでしょうか。

心よりご冥福をお祈りいたします。

~~~~~ I. M 報 告 ~~~~~

◆吉田 (節) 会長

3月11日、和合RCのホストに依り、名古屋東分区のIMが行われました。当日は総勢550名を超える出席者で大変盛況でございました。

そして今年度の特色は従来の形式から脱皮し、心のふれ合いと云う事で全く無駄を省き中味を重視した大変実のあるIMでございました。

今回のIMは“大丈夫か！ 21世紀の日本、一だから今 12才を考える”と云うテーマで、12才と言うのは世間に対し1人立ちする年齢で人生において一つの節目であるようです。

21世紀につなぐ為、今我々の成す可き仕事は新世代の育成にありとは、折りにふれ皆様に訴えて居りますが、その意味では“だから今12才を考える”と言うテーマは誠に時を得ており、パネルディスカッションでの内藤ガバナーの御話は同じ世代の考え方として大変印象的でございました。

また、3月13日・14日の両日は第2760地区のライラセミナーが愛知県美浜少年自然の家に於いて開催され、来年度ホストクラブを指名されて居る関係上、大谷実行委員長始め小山、大口副委員長及び各委員の皆様方と共に参加し勉強に行き参りました。

ライラセミナーとは若い人達とロータリアンがともに一時を過し指導力、奉仕の精神を伝え友愛を深める目的でありまして、両日を通じて大変参考になる事が多く有意義な2日間でございました。

その中で特に基調講演の講師として招かれた豊川高等学校校長の平井真一先生の“今、子供が危い”と云うテーマに対し、日本の若者は大丈夫、今子供より親の方が危険と云う内容の講演と、分科会に於いて若い青年男女が真剣な話し合いが行れた事には大変深い感銘を受けました。

一環して言えるのは、家庭、学校、社会に於いて子供に対するコミュニケーションの不足及び思いやりの心の欠如が原因ではないかと言う事を痛感したセミナーであった事を御報告させていただきます。

◆萩原 喜代子さん

第1部は“だから今、12歳を考える”第2部は“会食と懇親会”というスケジュールで進められました。

第2部は、IM初めての企画のカラオケ大会でした。エントリー10ロータリー+1という司会者のご説明がございまして各ロータリー代表者10名と内藤明人ガバナーによるカラオケが、名司会者の進行により、笑いと拍手が始めから終わりまで続き、なごやかな楽しい1時間30分でした。

我がクラブからは、小林明副会長さんがエントリーされ、さすが堂々と「祝い舟」をお歌いになり、我々千種ロータリー出席者全員が一体となって声援を送り燃えました。小林副会長さん お疲れさまでした。

◆水谷 祥督君

IMに参加させていただいたのは2回目です。会場に入場しますとタイタニックの主題歌“マイハートウィルゴーオン”が流れ次いで君が代、ロータリーソ

グ(奉仕の理想)等の斉唱で始まり、分区代理の点鐘、司会 服部和史君により黙想、ホストクラブ会長の歓迎のことば、内藤明人ガバナーによる国際ロータリー会長のジェームス・L・レイシーのテーマ“ロータリーの夢を追い続けよう”により時代を背おう青少年の育成と思いやりの心を大切にとの挨拶、上村晋也分区代理の挨拶とひき続けました。特別出席者の紹介は昨年は一人一人でしたが、本年度は全員の立席にて簡素にされ、フォーラムでは“大丈夫か！ 21世紀の日本・だから今、12歳を考える”のテーマで内藤ガバナー・上村分区代理・社本青年会議所理事長・長澤忠徳氏・服部周子中学校校長の5人によるトークセッションにより終了しました。次期ホストクラブの挨拶、ガバナー講評と進み分区代理の点鐘にて第1部が終了。

第2部は楽しみにしていた懇親会場への移動。柏木順吉IM実行委員長の挨拶と乾杯により、谷喜久郎名司会者による各ロータリークラブ代表者10名と内藤ガバナーによるカラオケ大会に座は盛り上がり、各代表者のプロ歌手なみの歌声にも負けない我がクラブ小林副会長の歌を聞き、応援にも力が入りました。そして最後は「手に手つないで」を歌い閉会となりました。

◆山田 壽勝君

コーディネーター上村晋也分区代理の「まとめ」は、古来、わが国では、男子は12歳から16歳までに「元服」の儀式があり、女子には「十三参り」の風習があるが、これは、12歳から「オトナ」としての自覚をもたせる意味があり、現行の20歳での「成人式」では遅すぎる。

第二性徴があらわれ始める人生の大きな節目の時期にあたり、次代の社会を担う青少年の責任を自覚させるように、順調な身体の発育とともに、健全な精神の育成を促すため、「12歳の日」を制定し、家庭・地域社会・国家で祝うことにすれば、21世紀の日本は期待できる望ましい方向に進むことになろう。

この提案がロータリー発信の社会を動かす大きな運動となり、「国民の祝日」となることを望みたい——との趣旨であった。

武蔵野美術大学教授長澤忠徳氏の基調講演について、名古屋市立浄心中学校校長服部周子氏・名古屋青年会議所理事長社本光永氏・内藤明人ガバナーのコメントが提示されたが、いずれも有益かつ貴重な御意見であり、IMフォーラムにふさわしい感銘深い内容あるものであった。

例会変更のお知らせ

名古屋名東RC	4/6(水)お花見例会の為、長久手町 杖ヶ池公園にて
豊山一城北RC	4/6(水)春の家族会の為、日時・場 所は未定
名古屋南RC	4/7(木)クラブフォーラムの為、八 事八勝館にて

◆次回例会 (3月30日)

友愛の日